

## 2. 2. 3 河川環境

### (1) 河川環境

大淀川本川の上流部の都城盆地では、畜産が盛んで、河川の高水敷は一部牧草地として利用され、草原性の植生が色濃く、チガヤーススキ群落、キンエノコロメヒシバ群落、ネズミムギなどが広い面積を占めています。水際の植生は、オギ、ツルヨシなどが覆い、広大な高水敷には、ヒメネズミ、アカネズミ、コウベモグラ、ノウサギなどの哺乳類が多く生息しています。鳥類では、土が露出している自然河岸にカワセミ、ヤマセミが、オギ植生の中にバン、ヒクイナが、また<sup>もうきんるい</sup>猛禽類のハイタカ、チョウゲンボウ、ハヤブサなどが確認できます。魚類ではコイ科が中心ですが、流れの緩やかな水際には、メダカ(絶滅危惧Ⅱ類)、ヤマトシマドジョウ、ドンコ等が生息しています。



#### ■カワセミ

全国各地に分布し、大淀川でもほぼ全域で確認されています。山地から平地の川、池、湖などの水辺に単独又はつがいで生息しています。



#### ■ヤマセミ

北海道から九州まで各地に留鳥として分布し、大淀川ではほぼ全域で確認されています。瀬・淵など変化に富んだ河川環境が形成されているところで確認できます。



#### ■ヤマトシマドジョウ(情報不足)

九州と山口県に分布し、大淀川では、本庄川の6k500付近及び上流域(都城市)でごく少数確認されています。



#### ■カワネズミ(準絶滅危惧)

本州、四国、九州に分布し、大淀川では、沖水川の上流域で確認されています。

中流狭窄部は河畔林が繁茂し、木陰の創出や鳥類のねぐら、鳥類の餌としての落下昆虫の供給場所などとして、河川の生態系の維持に重要な役割を果たしています。植生は、スダジイ、ヤブツバキ、タブノキなどを中心としたミズバイースダジイ群落等の山地型植生が兩岸までせまってきています。支川



■河畔林

岩瀬川においてはオオヨドカワゴロモ(小林市:天然記念物)が生息しています。また魚類ではアユカケ(カマキリ)、ボウズハゼ、ウナギ等の回遊型をはじめ、オイカワ、カワムツB型、コイなどが生息しています。



■アユカケ(カマキリ)(準絶滅危惧)

日本固有種で、日本海側では秋田県以南、太平洋側では神奈川県以南の各地に分布し、大淀川水系では、大淀川中流域や本庄川に生息しています。河床が礫の区域でよく捕獲されます。

高岡付近で宮崎平野に入る下流部は、宮崎市街部を流れる川として、河川公園、樹木、水辺が創り出す良好な都市景観を有しています。さらに、大淀川下流左岸部の河畔には観光ホテル群があり、「観光宮崎の顔」として県内外の観光客でにぎわっています。こうした状況の中で老朽化した特殊堤のコンクリート壁面について、景観などへの配慮が求められています。



■橘公園

また、高水敷の利用がさかんで、市民スポーツ、休息、イベント等に多く利用され、人工的に創出された河川空間になっています。しかしこのような河川環境の中でも、河口付近に位置する中州、通称「丸島」は、市街地の中心にありながら人為的改変から逃れ、植生的には極相であるものの、ヤブニッケイ・タブノキ群落、ホテイアオイ林からなり、景観的にうっそうとした樹林となっており、コサギ、ゴイサギをはじめとするサギ類のコロニーを確認することができます。またその他の野鳥、カワウ、ミサゴ（準絶滅危惧）などにとっても休息・生息地としても重要な箇所となっています。



■丸島

河口の水域はアカメの生息地としても全国的に有名です。これは、コアマモ（植物）が丸島周辺や津屋原沼（通称タンポリ）に生育していることが要因で、これらの箇所はアカメの稚魚、幼魚をはじめ、スズキなどの生息場となっています。河口左岸では、日向灘に直面した砂浜の海岸が広がり、アカウミガメの産卵場として、毎年、5月～9月に出現が確認されています。また、河口より10km左岸付近は、ジャヤナギー・アカメヤナギ群落を中心に植生豊かな中州、ワンドが形成され、遊泳力の弱いメダカ（絶滅危惧Ⅱ類）やオイカワの稚魚の生息場となっています。

大淀川は、全川の的に広大な砂州が形成されており、鳥類や哺乳類の営巣・生息の場として期待されますが、河川敷の多くがレクリエーションや牧草地として利用されているために、人や車の立ち入りにより良好な生息環境が減少しており、保全措置の構築が求められています。



■アカメ（準絶滅危惧）

日本固有種で、宮崎県と高知県の大きな河川の河口付近、及びその近海だけに分布します。大淀川の丸島周辺、八重川津屋原沼周辺に生息しています。



■アカウミガメ（絶滅危惧Ⅱ類）

全国、特に太平洋に接する沿岸域に分布し、大淀川では河口、左岸の砂浜のみに分布します。5月～9月の間に、15～20頭のアカウミガメが左岸の砂浜に産卵のため上陸します。宮崎県の天然記念物に指定されています。

大淀川最大の支川本庄川は、上流域に日本有数の「原生の照葉樹林帯」を抱え、豊かな自然の生態系が形成されています。特に、本庄川と大淀川の合流点より上流において、川幅が広く低水路が蛇行・侵食・堆積することによって河跡湖やワンドなどの止水域が形成されています。点



■照葉樹林

在する河跡湖やワンドには、植物のミズキンバイ(絶滅危惧 IA 類)を始めツクシイバラ、ヨシ、ツルヨシ、オギなどの優れた川辺の植生環境を有し、綾町の元町橋上流付近には沈水植物



■河跡湖やワンド

物のホザキフサモオオカナダモ群落が形成されています。また魚類では、ナマズ、カマキリ、モツゴ、ヤマトシマドジョウ、メダカ、ボウズハゼ、などが確認されています。鳥類ではヤマセミ、バン、ウズラ、コアジサシが確認されています。本庄川は瀬や早瀬、淵が常に入れ変わり、同時に浮石の多い河床が形成さ

れ、アユの産卵場も所々に見られます。またこの流域は景観的に優れ、大河川の自然植生が全国的に失われつつある中で、様々な自然植生で構成され、河川の原因風景の保全が求められています。



■ミズキンバイ(絶滅危惧 IA 類)

北海道、本州、四国、九州で見られます。大淀川流域では、特に本庄川に点在する河跡湖やワンドなどに生育が見られます。若干の水の循環、水がある程度貫流するような環境が必要です。

表 2.2.2 大 淀 川 水 系 で 確 認 さ れ た 主 な 希 少 種

	特定種		特定種
哺乳類	オヒキコウモリ(環境省:情報不足, 宮崎県:絶滅危惧IB類) カワネズミ(宮崎県:準絶滅危惧) クロホオヒゲコウモリ(環境省:絶滅危惧IB類) ニホンコテンゴウモリ(宮崎県:情報不足) ジネズミ(宮崎県:情報不足) ニホンカモシカ(国の特別天然記念物, 宮崎県:その他保護上重要な種) ユビナガコウモリ(宮崎県:準絶滅危惧) ホンドリレンコウモリ(環境省:絶滅危惧IB類, 宮崎県:絶滅危惧IB類) モモジロコウモリ(宮崎県:準絶滅危惧) ヤマネ(環境省:準絶滅危惧, 宮崎県:絶滅危惧II類)	爬虫類	アオウミガメ(環境省:絶滅危惧II類, 宮崎県:絶滅危惧II類) アカウミガメ(環境省:絶滅危惧II類, 宮崎県:絶滅危惧II類) イシガメ(宮崎県:絶滅危惧II類) クサガメ(宮崎県:絶滅危惧II類) スッポン(環境省:情報不足, 宮崎県:情報不足)
	両生類		オオイタサンショウウオ(環境省:絶滅危惧II類, 宮崎県:絶滅危惧IB類) オオサンショウウオ(環境省:準絶滅危惧, 宮崎県:情報不足) トノサマガエル(宮崎県:準絶滅危惧) ニホンヒキガエル(宮崎県:準絶滅危惧) ブチサンショウウオ(宮崎県:情報不足) ベッコウサンショウウオ(環境省:準絶滅危惧, 宮崎県:絶滅危惧IB類)
鳥類	アオバズク(宮崎県:準絶滅危惧) アカショウビン(宮崎県:準絶滅危惧) ウズラ(環境省:情報不足, 宮崎県:準絶滅危惧) オオコノハズク(宮崎県:情報不足) オオタカ(環境省:絶滅危惧II類, 宮崎県:準絶滅危惧) オオルリ(宮崎県:準絶滅危惧) オジロトウネン(宮崎県:準絶滅危惧) カッコウ(宮崎県:準絶滅危惧) キバシリ(宮崎県:情報不足) キビタキ(宮崎県:準絶滅危惧) クマタカ(環境省:絶滅危惧IB類, 宮崎県:絶滅危惧II類) コアジサシ(環境省:絶滅危惧II類, 宮崎県:準絶滅危惧) コサメビタキ(宮崎県:準絶滅危惧) コシジロヤマトリ(環境省:準絶滅危惧, 宮崎県:その他保護上重要な種) コノハズク(宮崎県:絶滅危惧II類) コマドリ(宮崎県:準絶滅危惧) サンバ(宮崎県:準絶滅危惧) サンコウチョウ(宮崎県:準絶滅危惧) ジュウイチ(宮崎県:準絶滅危惧) セイタカンギ(環境省:絶滅危惧IB類) チュウヒ(環境省:絶滅危惧II類, 宮崎県:絶滅危惧II類) ツツドリ(宮崎県:準絶滅危惧) ツバメチドリ(環境省:絶滅危惧II類, 宮崎県:絶滅危惧II類) ツミ(宮崎県:準絶滅危惧) トラツグミ(宮崎県:準絶滅危惧) ハイロチュウヒ(宮崎県:絶滅危惧II類) ハヒタカ(環境省:準絶滅危惧, 宮崎県:準絶滅危惧) ハチクマ(環境省:準絶滅危惧, 宮崎県:絶滅危惧II類) ハヤブサ(環境省:絶滅危惧II類, 宮崎県:準絶滅危惧) ヒクイナ(宮崎県:準絶滅危惧) フクロウ(宮崎県:絶滅危惧II類) ブッポウソウ(環境省:絶滅危惧II類, 宮崎県:準絶滅危惧) ミサゴ(環境省:準絶滅危惧, 宮崎県:準絶滅危惧) ヤイロチョウ(環境省:絶滅危惧IB類, 宮崎県:絶滅危惧IB類) ヨタカ(宮崎県:準絶滅危惧)	魚介類	アカメ(環境省:準絶滅危惧, 宮崎県:絶滅危惧II類) アリアケギバチ(環境省:準絶滅危惧, 宮崎県:絶滅危惧IA類) カマキリ[アユカケ](宮崎県:準絶滅危惧) カワアナゴ(宮崎県:情報不足) クボハゼ(環境省:絶滅危惧IB類) トビハゼ(宮崎県:絶滅危惧II類) ドジョウ(宮崎県:絶滅危惧II類) ナマズ(宮崎県:準絶滅危惧) メダカ(環境省:絶滅危惧II類, 宮崎県:絶滅危惧II類) モツゴ(宮崎県:情報不足) ヤエヤマノコギリハゼ(環境省:絶滅危惧II類) ヤマトシマドジョウ(宮崎県:情報不足)
	陸上昆虫		アオカナブン(宮崎県:準絶滅危惧) オオムラサキ(環境省:準絶滅危惧, 宮崎県:準絶滅危惧) モートンイトトンボ(宮崎県:絶滅危惧II類) ルーミスジミ(環境省:絶滅危惧II類, 宮崎県:絶滅危惧II類)
	植物		ウキヤガラ(宮崎県:絶滅危惧IA類) オオヨドカワゴロモ(小林市:天然記念物) オニバス(環境省:絶滅危惧II類, 宮崎県:絶滅危惧IA類) カワヂシャ(環境省:準絶滅危惧) グンバイヒルガオ(宮崎県:絶滅危惧II類) ゴマクサ(環境省:絶滅危惧IB類, 宮崎県:準絶滅危惧) タコノアシ(環境省:絶滅危惧II類, 宮崎県:絶滅危惧II類) ハナガガシ(環境省:絶滅危惧IB類, 宮崎県:絶滅危惧) ヒュウガアジサイ(環境省:絶滅危惧II類, 宮崎県:絶滅危惧II類) ミクリ(環境省:絶滅危惧, 宮崎県:絶滅危惧II類) ミズキンバイ(環境省:絶滅危惧IA類, 宮崎県:絶滅危惧IA類) ミズネコノオ(環境省:絶滅危惧II類, 宮崎県:準絶滅危惧) ミノコウジュ(環境省:準絶滅危惧)
	甲殻類		シオマネキ(環境省:準絶滅危惧, 宮崎県:絶滅危惧II類) ハクセンシオマネキ(環境省:準絶滅危惧, 宮崎県:絶滅危惧II類)

出典) 河川水辺の国勢調査(平成2年～平成15年)及び現地調査

綾照葉樹林の生態系調査(平成16年3月):財団法人 国立公園協会

宮崎市の保全すべき自然環境調査 報告書(平成9年8月):宮崎自然環境調査研究会

## (2) 水質

大淀川は、宮崎市 31 万人の上水道の水源として利用されていますが、流域の都市化や産業の発展した昭和 40～50 年代以降、河川水質は必ずしも良好なレベルとは言えない状況が続いています。また、大淀川上流域の平成 12 年度末における下水道普及率は約 12%にとどまっていること、都城市を中心とした上流域は畜産業が盛んな地域であること等から、上流域の水質は下流域よりも相対的に高い数値で推移しています。

流域市町村では、協議会などの活動（「大淀川水系水質汚濁防止対策連絡協議会」、「大淀川サミット」等）による地域住民への啓発活動、公共下水道や農業集落排水施設等の整備を進めています。その結果、平成 13 年度まで都城盆地中央部で BOD の環境基準値を上回っている地点が認められたものの、平成 14 年度以降は全ての地点で環境基準値を下回っており、近年では河川の水質は改善されつつありますが、全国平均値(1.1mg/l)に比べると高くなっています。

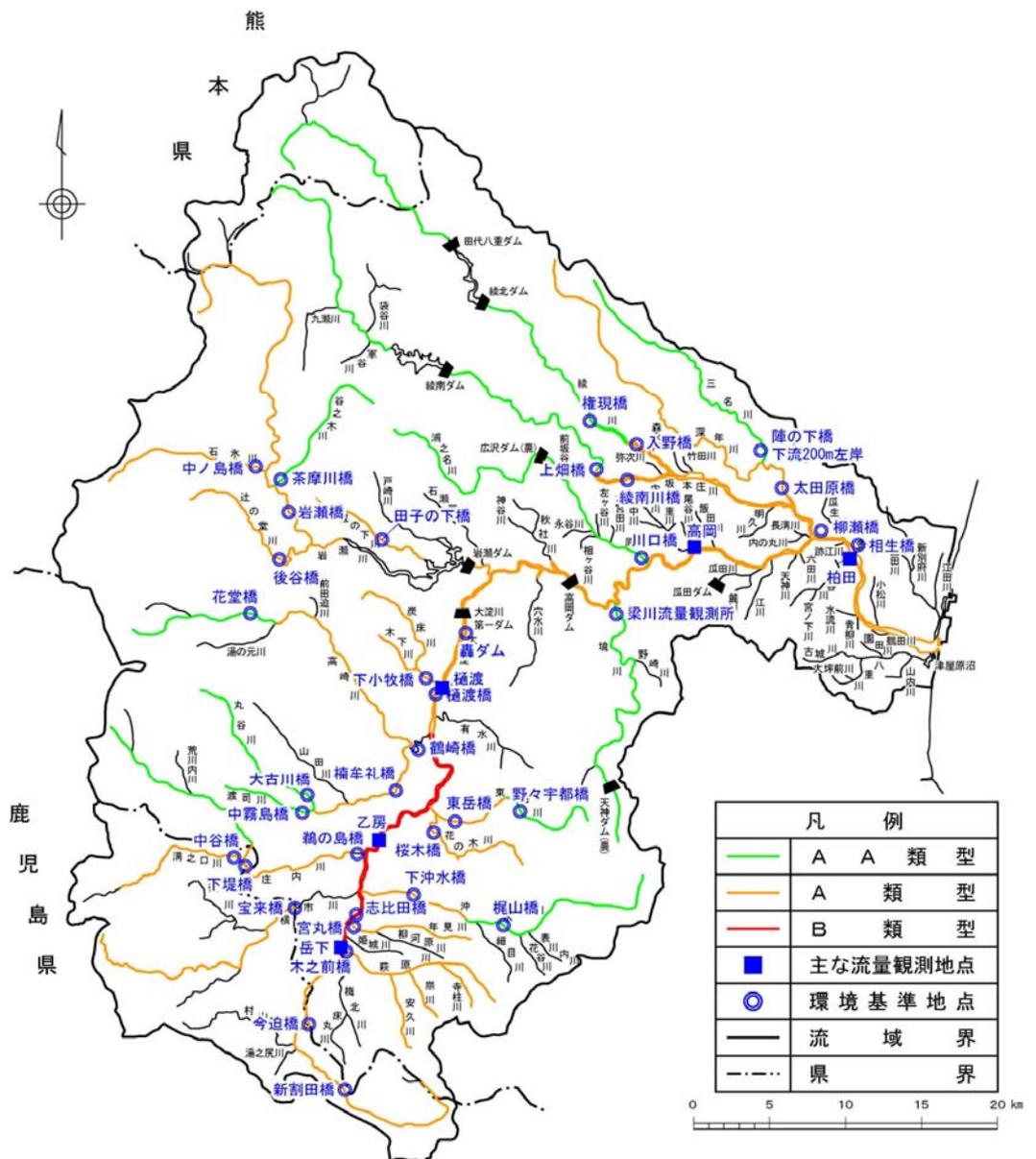


図 2.2.6 大淀川環境基準類型指定状況図

表 2.2.3(1) 水質環境基準類型指定状況（昭和 48 年 1 月 20 日宮崎県知事告示）

水域名	水域の範囲	水域類型	達成期間	環境基準点
大淀川上流	たけした 岳下橋より上流 (鹿児島県境まで)	A	5 年以内で可及 的速やかに達成	いまきこ 今迫橋
大淀川中流	岳下橋から高崎川合流 点まで	B	〃	しびた 志比田橋
大淀川下流	高崎川合流点より下流 (左岸入江を除く)	A	〃	樋渡橋
		A	〃	轟ダム
		A	〃	あいおい 相生橋
庄内川上流	せきのお 関之尾滝より上流	AA	直ちに達成	しもつみ 下堤橋
庄内川下流	関之尾滝より下流	A	5 年以内で可及 的速やかに達成	うのしま 鶴の島橋
まるたに 丸谷川上流	渡司川合流点より上流	AA	直ちに達成	おおふるかわ 大古川橋
丸谷川下流	渡司川合流点より下流	A	5 年以内で可及 的速やかに達成	くすむれ 楠牟礼橋
わたし 渡司川		AA	直ちに達成	なかきりしま 中霧島橋
高崎川上流	ゆのもと 湯之元川合流点より上流	AA	直ちに達成	はなどう 花堂橋
高崎川下流	湯之元川合流点より下流	A	5 年以内で可及 的速やかに達成	つるさき 鶴崎橋
沖水川上流	みまた 三股橋より上流	AA	直ちに達成	かじやま 梶山橋
沖水川下流	三股橋より下流	A	5 年以内で可及 的速やかに達成	しもおきみず 下沖水橋
ひがしだけ 東岳川上流	やまのくち 山之口橋より上流	AA	直ちに達成	ののうと 野々宇都橋
東岳川下流	山之口橋より下流	A	5 年以内で可及 的速やかに達成	東岳橋
岩瀬川		A	5 年以内で可及 的速やかに達成	岩瀬橋
さかい 境川		AA	直ちに達成	やながわ 築川流量観測所
うらのみよう 浦之名川		AA	直ちに達成	かわぐち 川口橋
綾北川上流	ゆのたに 湯之谷川合流点より上流	AA	直ちに達成	ごんげん 権現橋
綾北川下流	湯之谷川合流点より下流	A	5 年以内で可及 的速やかに達成	いりの 入野橋
本庄川上流	うわばた 上畑橋より上流	AA	直ちに達成	上畑橋
本庄川下流	上畑橋より下流	A	5 年以内で可及 的速やかに達成	綾南川橋 やなせ 柳瀬橋
深年川		A	5 年以内で可及 的速やかに達成	おたばら 太田原橋

表 2.2.3(2) 水質環境基準類型指定状況（昭和 49 年 4 月 30 日宮崎県知事告示）

水域名	水域の範囲	水域類型	達成期間	環境基準点
つじのどう 辻の堂川		A	5年以内で可及 的速やかに達成	しろたに 後谷橋

（平成 7 年 4 月 1 日宮崎県知事告示）

水域名	水域の範囲	水域類型	達成期間	環境基準点
いしごおり 石氷川	石氷川に流入する真方 川、種子田川及び 巢ノ浦川を含む	A	直ちに達成	なかのしま 中ノ島橋
萩原川	萩原川に流入する安久 川、崩川及び寺柱川を 含む	A	直ちに達成	きのまえ 木之前橋

（平成 8 年 4 月 1 日宮崎県知事告示）

水域名	水域の範囲	水域類型	達成期間	環境基準点
三名川	三名川に流入する 仮ヤ原川、北俣川及び 永山川を含む	AA	直ちに達成	じんのした 陣の下橋下流 200m 左岸
たにのき 谷之木川	谷之木川に流入する河川 を含む	AA	直ちに達成	ちやま 茶摩川橋
すみとこ 炭床川	炭床川に流入する木下 川及び佐渡川を含む	A	直ちに達成	しもこまき 下小牧橋
花の木川	花の木川に流入する富 吉川及び樋口川を含む	A	直ちに達成	きくらぎ 桜木橋

（平成 9 年 4 月 1 日宮崎県知事告示）

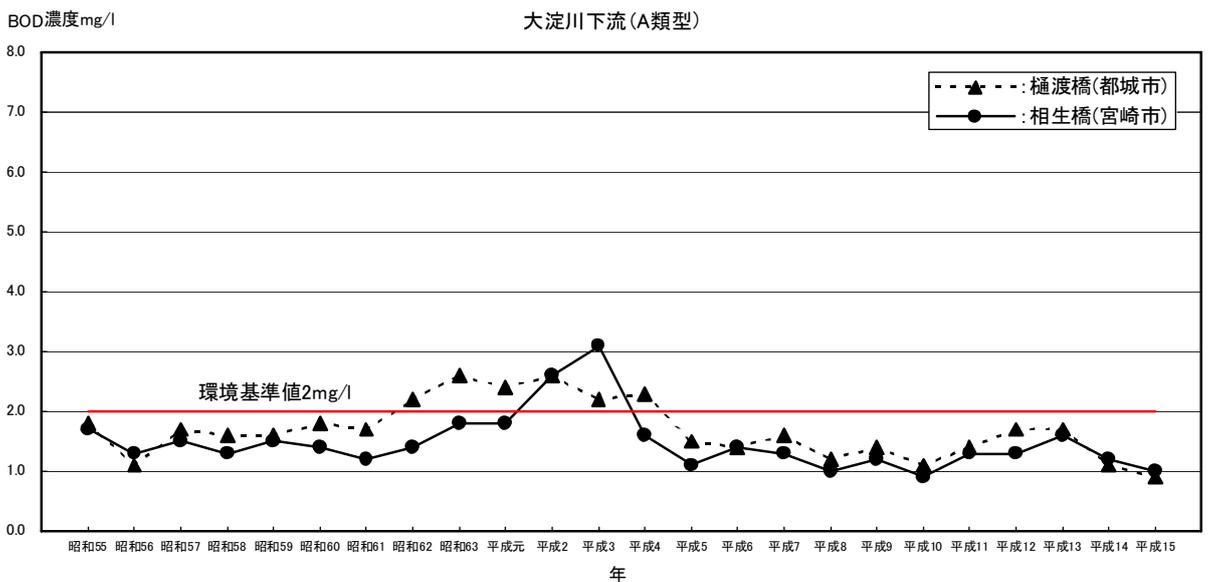
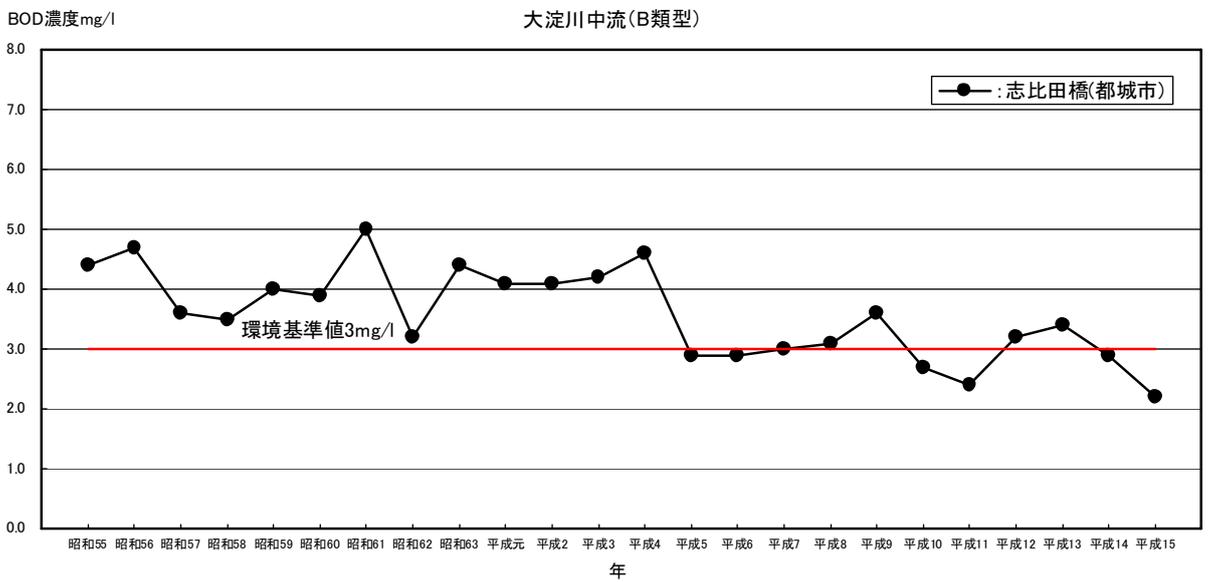
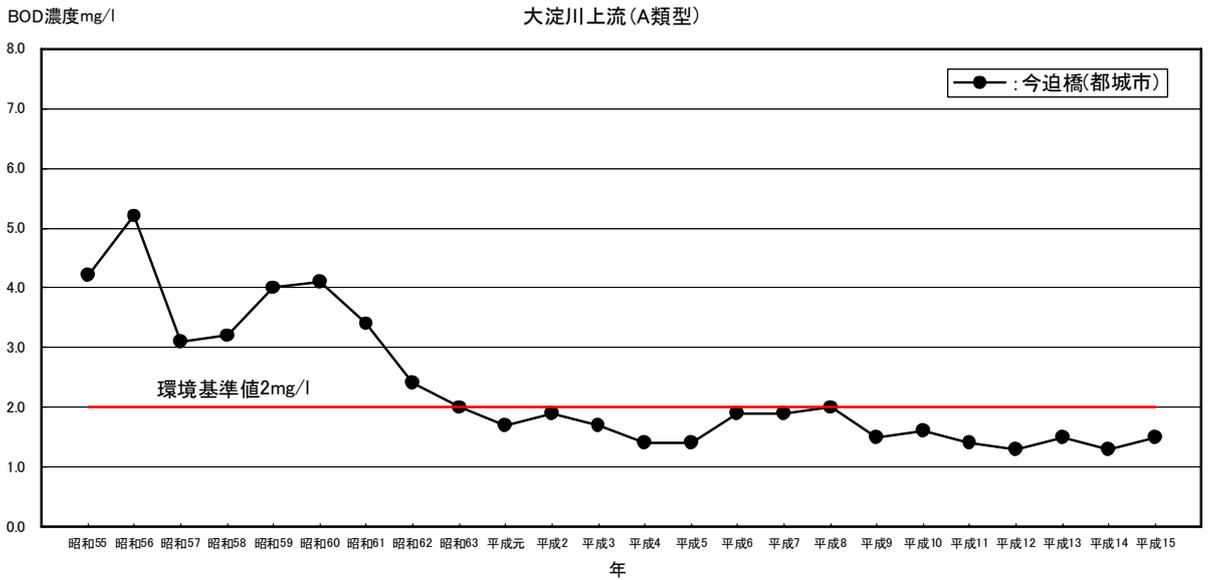
水域名	水域の範囲	水域類型	達成期間	環境基準点
じょうのした 城の下川	城の下川に流入する 大沢津川等の河川を含 む	A	直ちに達成	たごのした 田子の下橋

（平成 16 年 4 月 1 日宮崎県知事告示）

水域名	水域の範囲	水域類型	達成期間	環境基準点
年見川	年見川放水路を除く	A	5年以内で可及 的速やかに達成	宮丸橋

（昭和 48 年 6 月 29 日鹿児島県知事告示）

水域名	水域の範囲	水域類型	達成期間	環境基準点
大淀川上流	宮崎県境から上流	A	5年以内で可及 的速やかに達成	新割田橋
横市川上流	宮崎県境から上流	A	5年以内で可及 的速やかに達成	宝来橋
溝之口川上流	庄内川合流点から上流	A	直ちに達成	中谷橋



注) 今迫橋は、宮崎県の環境白書データによる。

図 2.2.7 大淀川本川における水質(BOD75%)の経年変化